

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

◆本学の新型コロナウイルス感染拡大防止対策◆

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大及び日本国内の状況を踏まえ、今年度の授業は、五月十一日(月)から一部授業をオンラインで開始し、六月十五日(月)から対面形式とオンライン形式を併用して教育活動を行っています。

対面授業を始めるにあたっては、学生の安全な環境の確保の観点から学内施設の新型コロナウイルス

ウイルス感染拡大防止対策の万全を図っております。

通常年度とは全く異なる状況のもと、多くの制約があり、これまで経験したことのない努力が求められておりますが、「学生の健康・安全」と「適切な教育の実施」を両立させるよう努力してまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



会長挨拶

後援会会長 津田 眞利



向寒の候、保護者会々員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃後援会活動にご理解・ご協力くださいますありがとうございます。

コロナ禍における本年度後援会総会において、会長職の任を仰せつかりました津田眞利と申します。何分微力なもので不慣れな点が多々あるとは思いますが、本年度の役員の皆様のお力添えを頂き、先輩方の活動に負けぬよう活動に努めて参りますので宜しくお願い致します。

さてこの春は、新型コロナウイルスの影響でこれまでにない寂しい卒業式、入学式を迎えました。それでも本学はいち早くリモートによる授業と実習を伴う分散型の対面授業を採り入れて下さいました。この場をお借りして大学側に御礼申し上げます。不安な学生たちの心をどれだけ和らげてくださったことでしょうか。感謝申し上げます。未だ終息の見当もつかない新型コロナウイルスの猛威です。我々後援会としてもご家庭から学校にウイルスを持ち込まない努力をして参りましょう。そして1日も早く元の学校生活、日常生活ができるよう協力して参りましょう。

終わりに会員の皆様のご健勝・ご多幸と東京聖栄大学の益々のご発展を祈念し私の挨拶とさせていただきます。

また、役員選出については、会長に津田眞利氏、副会長に笹木敦氏、高島眞一氏など会計及び会計監査を含めた後援会四役員も提案通り夫々選任されました。

総会・役員会報告

●三月役員会報告

二月二十二日(土)に役員会全体会が開催されました。

先ず、令和元年度事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、慎重審議の結果同報告は承認されました。引き続き、令和二年度事業計画案同予算案を審議、夫々承認されました。

さらに、進級する役員の方の二年度留任並びに会長・副会長・会計・会計監査(四役員)候補者が決定されました。

●総会の中止・議案の電子承認
四月一日(水)に予定されていた入学式は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となり、同日予定の後援会総会も中止されました。

した。決定事項は本学ホームページに掲載しています。

●六月役員会の中止

後援会四役員協会の協議により、新型コロナウイルスの感染拡大による国からの「緊急事態宣言」の発出等を踏まえ、六月の役員会中止が検討されました。役員会中止と四役員以外の新役員選出は、議案郵送及びメールにより行うこととし、五月末までの期限内に特段の意見はなく、原案通り、承認されました。

●意見交換会(オンライン)報告
今年度は、後援会総会及び六月役員会が開催できず、秋に開催を予定していた後援会・大学共催の保護者会の開催も危ぶまれる状況により、津田会長他四役員と大学との検討の結果、大学との意見交換会(オンライン)を開催することが決定し、九月五日(土)に、後援会四役員と、大学側から学長・学部長・両学科長他が参加し実施されました。新型コロナウイルス禍における、オンライン授業・感染予防を徹底した対面授業の状況等など、活発な意見交換がなされ、あわせて保護者会は中止とすることが提案され、大学との合意がなされ決定しました。大学より、保護者会に代わり、希望する保護者には、学年担任との個別相談を電話またはオンラインにより行うことが報告されました。

管理栄養学科

地域に貢献

管理栄養学科長 宮内 眞弓



今年度はコロナ感染による授業の開始が遅れるなど保護者にとってご心配な日々が続いていたことと思います。五月からオンラインによる授業開始、六月より実験実習の対面授業が開始となりました。現在四年次生は国家試験に向け必死に勉強しております。自宅で集中して勉強している学生と、一人で不安を抱えながら国家試験の勉強をしている学生がおります。国試対策室では後期授業開始と同時に学生への指導を行っております。大学に来るようになり、本格的にスイッチが入った学生たちの状態も伺え、授業開始と同時に学力が伸びてきております。これからは学力ですが体調管理も重要になってきます。体調管理など家庭でもご協力いただければと思います。三年次生は本来夏季休暇中に臨地実習へ行く

予定でしたが、職員食堂が廃止されるなど臨地実習の受け入れが難しい状態となっております。後期授業開始と同時に臨地実習の受け入れ施設も増え、臨地実習も始まっております。実習で学べることは大学で学べることと違い、一回り成長しましたと保護者の皆様からご報告をいただくこともあります。このような体験はできる限り行いたいと考えております。また、二年次生は大学にも慣れ、人間関係を築く大切な時期だと考えております。オンライン授業により学生同士で会う機会も減り、大学では三密を避けるよう指導しておりますので、栄養士として最も大切なコミュニケーション能力を心配しております。しかし今の学生はオンラインでのコミュニケーションなど教員の心配をよそに上手に行っております。一年次生は入学式以降、会う機会がなく授業が開始となり、本当に学生も保護者も不安でいっぱいだったと思います。一年次生の管理栄養士の基礎演習でこれらの不安を少しでも払拭できるようコミュニケーション中心に栄養士の在り方などの授業を充実させて取り組んでまいりました。

学生との会う機会が減ること、授業についていけない、人間関係などに不安を感じている学生が見落とされたくないよう注意を払っていききたいと考えております。



大量調理実習



臨地実習報告会

学友会活動報告

学友会会長挨拶



管理栄養学科 3年次生 高島 恭

今年度、学友会会長に就任致しました管理栄養学科の高島恭です。今年度も例年に倣って、様々な行事の企画・運営、地域イベントへの参加を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響で、例年通りの活動が行えなくなりました。そこで今年度の学友会総会は初めてオンラインで開催させて頂きました。パソコン上の画面にパワーポイントのスライドや資料を用いて会を進行しました。また、毎週行っていた学友会内

の定例会は感染リスクを減らすため、部屋の人数は最小限にし、オンラインの開催にしております。このように、オンラインならではの機能を存分に活かし、対面でのイベント開催とは違う、まったく新しい活動が行えるよう、励んでいきたいと思っております。通常年度とは異なる初めての事態で学生の皆様は困惑していると思いますが、学友会は学生の皆様の大学生活がさらに充実し、活動しやすいものになるよう、役員全体が一丸となつて精進致します。これからも皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。よろしくお願いいたします。



総会 (オンライン)

令和2年度学友会役員一覧

役職名	学年クラス	氏名
会長	3NA	高島 恭
副会長	3NA	小野 亜海
	2NB	小池 輝穂
総務	2NB	木南 穂利
	3NB	波多 康利
	2NA	島倉 涼音
	2FA	白石 和詩
会計	2FB	深谷 匠実
	3NA	小竹 雄介
	3FA	石田 菜子
	2NA	佐藤 彩花
監査	2FB	田島 唯果
	3FA	新藤 南秀
実務委員長	3FA	井上 友理奈
実務副委員長	3NB	原 亮
	3FA	秋山 那輝
	2NB	松本 聖人
	2FA	松喜 祐恋
実務副委員長	2FA	菅 井
	3NA	遠藤 佑夏
実務副委員長	3FA	池田 菜々
	2NA	大川 里穂
	2NB	柳下 純大
実務副委員長	2FB	中村 澄海
	3FB	宮成 大七
責任者	2NB	川嶋 千聖
	3NA	成犬 塚千
同好会	2NA	佐藤 玲菜
	2FA	菊地 絵

食品学科

この半年、これからの半年
食品学科長 北村 義明



この半年は、言うまでも無く新型コロナウイルス感染症に振り回されました。一年次生の宿泊研修、二年次生のフィールド研修は中止となり、二月の市場見学も、状況を見ながらの延期となっております。お預かりしておりますした宿泊研修と市場見学の参加費は、過日学生に手渡しで返金致しました。

前期授業においては、座学についてはZOOMのライブ配信を主とした遠隔授業を、実験実習に関しては、通常より人数を半減した班編制で対面実施致しました。ZOOM授業では教室でのスクリーンへの投映より資料等が見やすいとの声もありますが、自宅では集中しての受講が困難との感想も届いております。後期に関しても、原則的に同様な体勢となりますが、今後緊急事態宣言が再度発動される

ような場合は実験実習もリモート配信せざるを得なくなることを想定して、教員も準備だけを行う体勢であります。前期の反省点を活かして、自宅でPC/インターネット環境が揃わない学生への配慮や、授業方法の検討等行いながら、遠隔授業においても教育効果が損なわれないように更に工夫していく所存です。



コロナ対応の授業風景



製菓・製パン実習

四年次生の就職活動については、学科全体としては昨年と比べて若干出遅れてはおりますが、コロナ禍の社会的状況を鑑みると健闘していると言えます。昨年度の卒業式は学位授与式として、スーツの着用で簡素に行いましたが、今年度は感染防止に努めながら、なんとか晴れの日にふさわしい式典が行えるように、切に願っております。皆様にも感染防止に多大なるご協力いただき、ここに改めて御礼申し上げますとともに、引き続き、日常生活における感染防止対策の徹底へのご協力お願い致します。

学生支援センター

(学生支援・就職支援)

就職支援

本学四年次生の内定状況(十月三十一日現在)は、八・三%となりました。新型コロナウィルス感染症の拡大が大学生の就職活動にも大きな影響を及ぼしました。四年次生の就職活動が本格化した時期と重なり、合同企業説明会や個別企業説明会の中止、採用活動のWEB化など、今年の学生は今まで経験したことのない就職活動を強いられることになりました。

四月には、国による緊急事態宣言が発令され外出等の自粛を余儀なくされた中で、就職活動中の学生に対して、学生支援センターでは、メールでの履歴書添削や就職相談等を実施しました。また、今後も就職未定者に対し、継続して個別に就職支援を行ってまいります。

就職未定者は積極的に学生支援センターや就職支援アドバイザーとの相談を利用し、あきらめずに就職活動を進めて頂きたいです。

多様化する就職採用活動に対応すべく、今年度は、一・二年次生対象に就職専門業者によるキャリアデザイン講座等の動画配信を実施しました。

また、就職活動が本格化する三年次生対象には就活スタートアップ講座やインターンシップ準備講座、WEB選考マナー講座等の動画配信等、多数の就職支援関係の情報を提供してまいります。就職支援講座等、積極的にこれらのコンテンツ等を視聴し、最新情報を収集して、ご自身の就職活動に活かしてほしいと考えています。

学生の就職支援にあたりまして、関係者の皆様のご協力をお願い致します。

高等教育の修学支援新制度

高等教育の修学支援新制度は、文部科学省による大学等の高等教育における「授業料や入学金の減免」及び、日本学生支援機構「給付型奨学金」による制度として令和二年四月から始まりました。

本学は、文部科学省から高等教育の修学支援新制度の支援対象校として認定され、「授業料・入学金の一部減免と給付型奨学金」により、経済的に困難な意欲ある学生のみなさんの「学び」の支援を行っております。

修学支援新制度における申請は、春期と秋期に行っており、給付型奨学金「日本学生支援機構」、授業料等の減免「大学(本学)」それぞれに手続きが必要です。修学支援新制度や日本学生支援機構奨学金等については、学生支援センターまでお問合せください。また、詳細は文部科学省及び日本学生支援機構のホームページをご覧ください。



文部科学省 HP
修学支援新制度
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm



日本学生支援機構 HP
給付型奨学金
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

健康栄養学部

コロナ禍でも「学びを止めない」をスローガンに健康栄養学部長 荒木 裕子



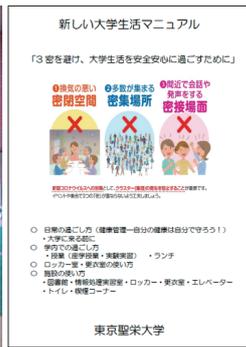
今年三月から本格化した新型コロナウイルスの感染症は、本学の教育にも大きな試練となりました。卒業式は中止、学位記授与のセレモニーとなり、入学式や新学期の行事も全て中止となりました。緊急事態宣言の発令から、学生の安全と健康を最優先に考え、大学入構禁止の措置のなか、コロナ禍でも、「大学の学びを止めない」という強い信念の下、教職員一丸となり緊急に対応策を練り上げました。その結果五月からはオンライン授業を開始し、それに伴い大学からは遠隔授業に伴う負担軽減の支援対応もさせていただきました。全教員は遠隔授業であつても対面授業と同様の学修目標を達成できるよう努めました。六月から開始した実験実習

の対面授業では、密を避ける少人数制を導入し、指導教員も増員し実施しています。また、学生の皆さんを大学に迎えるにあたり、「新しい大学生活マニュアル」を作成し、全学生、全教職員の健康観察、検温の実施、教室・施設の三密を避ける工夫、消毒、換気等の対策を教職員が一丸となり、実施しています。後期の授業も前期同様にオンラインと対面授業を併用し、学生の感染リスク低減に努めます。

本学を応援し、貴重なご意見をくださる後援会の皆様には、これからもご支援賜りますようよろしくお願いいたします。



サーモカメラでの検温



新しい大学生活マニュアル

管理栄養学科担任紹介

- 一年担任 小林陽子 教授
- 一年副担任 吉田真知子 講師
- 二年担任 宮内眞弓 教授
- 二年副担任 田中広美 講師
- 三年担任 大塚静子 准教授
- 三年副担任 膳法浩史 講師
- 四年担任 鈴木等 教授
- 四年副担任 風見公子 准教授



食品学科担任紹介

- 一年担任 谷本守正 教授
- 一年副担任 山本直子 講師
- 二年担任 片山佳子 准教授
- 二年副担任 福留奈美 准教授
- 三年担任 福田亨 教授
- 三年副担任 大田原美保 教授
- 四年担任 吉田光一 准教授
- 四年副担任 植芝牧 准教授



後援会の寄贈

後援会では、学生全員が健全かつ有意義な大学生活を送れるよう毎年度様々な寄贈を行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために大学で行っている取組みに全面的に協力支援し、学生の安全に役立つ寄贈を最優先としました。六月には、対面授業(通学)開始にあたり、赤外線サーモグラフィー二台を寄贈し、校舎入口に設置し、学生の検温確認に役立っています。また、安全に対面授業を実施するため、フェイスマスクを購入寄贈しました。また、就職支援として、学生が客観的に自分自身を知るためのアセスメントテストの受験料補助や就職関連の図書の実費を限りSPI対策や公務員試験対策の書籍など学生に広く利用されています。

令和 2 年度後援会役員紹介

会長	4NB	津田 眞利
副会長	2NB	高島 眞一
副会長	3FB	笛木 敦
会計	4NB	畑中 利夫
会計	3FA	尾籠 宏美
会計監査	2NB	増田 恵子
会計監査	4NB	野口 春美
役員	4NA	栗屋 しらべ
役員	4FA	朝比奈 邦雄
役員	4FB	伏見 広
役員	4FB	山本 勇子
役員	3NB	中野 勝
役員	3FA	甲斐 晃
役員	3FA	志賀 恵子
役員	3FB	福井 正文
役員	2NA	福鈴 美保
役員	2NB	晦日 美絵
役員	2FB	藤平 佳代子
役員	2FB	横田 啓子
役員	1NA	加藤 正久
役員	1NA	川嶋 秀由
役員	1NA	小林 和江
役員	1NA	小高 好子
役員	1NB	左 倫
役員	1NB	矢留 暁
役員	1FA	飯塚 真